

子供たちへの環境教育(出前講座)

1 趣旨

今日、地球温暖化、生物多様性の喪失、廃棄物問題等、人間の日常生活や活動に起因する様々な環境問題が発生し、その解決が喫緊の課題となっている。その解決策として県民の6割以上が「これからの時代を担う子供たちへの環境教育の充実」に期待(平成19年、環境政策課による県民アンケート調査結果)している。

このため、子供たちの環境教育を受け入れている当センターにおいて、今年度からの新しい取り組みとして地域の小学校に出向いての環境教育(出前講座)を実施し、一役を担う。

2 実施方法

実施対象校との協議を踏まえ、以下のとおり実施する。

実施日

平成20年6月30日、9月10日、11月14日

実施場所

円山小学校、日之出小学校、鶉小学校

対象児童

6年生75名、5年生71名、6年生37名

実施時間

45分授業2限分

担当する部署

健康長寿推進室および環境部

環境教育の基本的内容(ねらい)

「日頃の環境保全業務(調査・試験検査・研究)から得られる知識やノウハウを活かした子供たちへの多様な環境教育の実施」

(ねらい)

(第一ステップ)

身の回りのいろいろな水の汚れや自動車の排気ガスの汚れを簡単な道具等を使って子供たち自身で測定させる。(身の回りの環境の汚れを実感させ、環境への興味を持たせる。)

(第二ステップ)

「測定した水や大気汚染度は何を意味するのか」、「なぜ汚染するのか」、「更に進むと人間や生き物にどのような影響が及ぼされるか」を地球温暖化問題もからませて教え、きれいな水やおいしい空気の大切さや地球温暖化防止の必要性を学ばせる。(環境意識の醸成)

(第三ステップ)

「地球温暖化防止等の環境問題を自分たちはどう考え、どう行動していくべきか」をグループごとに討論・発表させ、評価を加える。(環境への想いを行動へと繋げるきっかけづくり)

具体的な進め方

○ 事前準備

2 教室を使用し、各教室とも生徒を 4 グループに分け(1 グループ 9～10 名)、机を配置する。(生徒がその周りに着席する。)

○ 第一ステップ 15 分 実験 2 教室に分かれて(1)または(2)を実施する。

(1)生徒が持ち込んだ各種の水の汚れをパックテストと透視度計を使って自ら測ってみる。

(2)生徒に、自動車の排気ガスを予め水を加えたビニール袋に採取させ、PH をパックテストで測ってみる。

○ 第二ステップ 15 分 講義 第一ステップの(1)または(2)の実験ごとに連続して実施する。

・実験した結果に基づき、水の汚れと大気(酸性雨、地球温暖化)の汚れの意味するところや、その汚染のしくみや原因、生き物等に与える影響などについて、パネル等によりわかりやすく説明する。

(1)または(2)の終了後、生徒は教室を交互に移動し、他方をする。

○ 第三ステップ 30 分 グループ討議、発表、総評・まとめ

- ・第一ステップ、第二ステップで、気付き学んだ中で、自分たちは今後地球温暖化防止等のために、「どう考え、何をなすべきか」をグループごとに意見を取りまとめ、全体で発表する。
- ・グループの発表ごとに総評を加える。
- ・最後に全体的な感想や子供たちへの環境への今後の取り組みについての期待感を伝える。